

特集1 最近のSHD治療における気になる話題

p●~●

CTを用いたSHD治療の工夫

社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院画像診断部
増広 諭

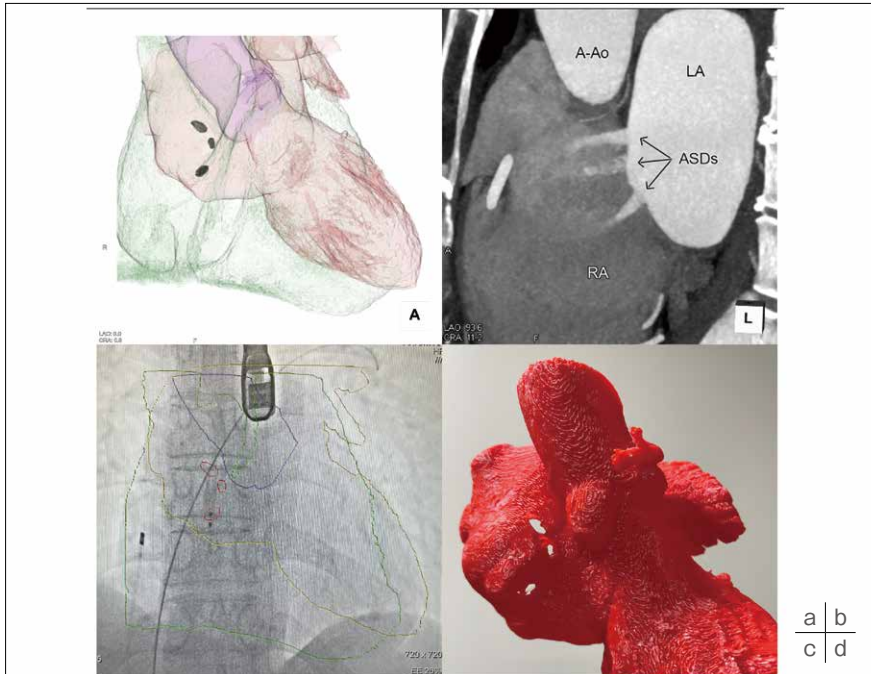


図1 ASD多孔症例

- a: ASDs(黒楕円)の位置関係が把握できるVR
- b: ASDsの位置関係が把握できるMPR
- c: 3Dロードマップ「EP Planning」による透視ナビゲーション
- d: 3Dプリンターのモデル

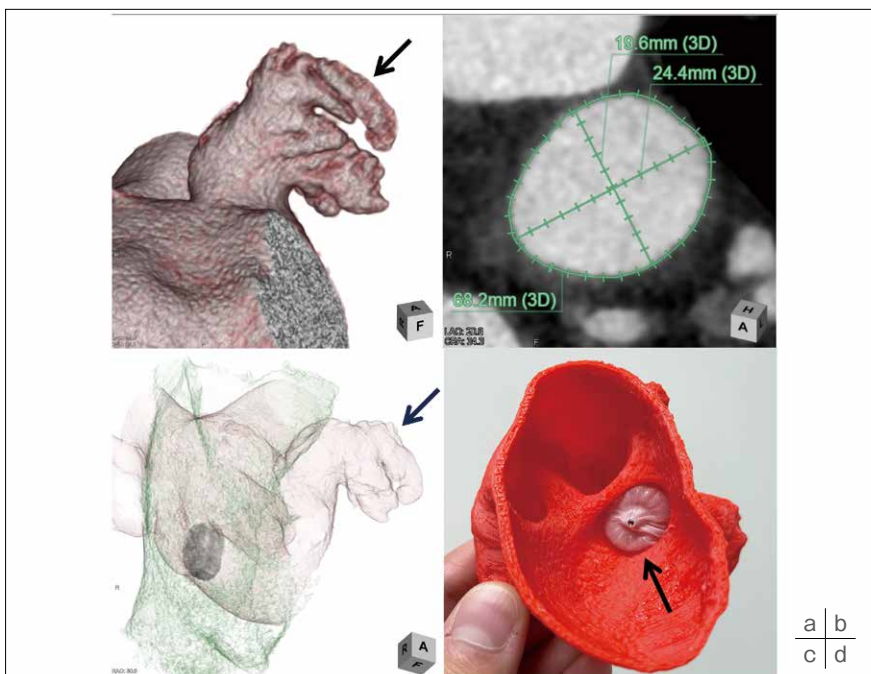


図2 左心耳閉鎖術

- a: LAA(矢印)形態評価の為のVR
- b: LAA入口部径をMPRにて計測
- c: 中隔穿刺時に卵円窩(黒楕円)とLAA(矢印)との位置関係を示すVR
- d: 3Dプリンターで作成した立体モデルに閉鎖栓(矢印)を挿入

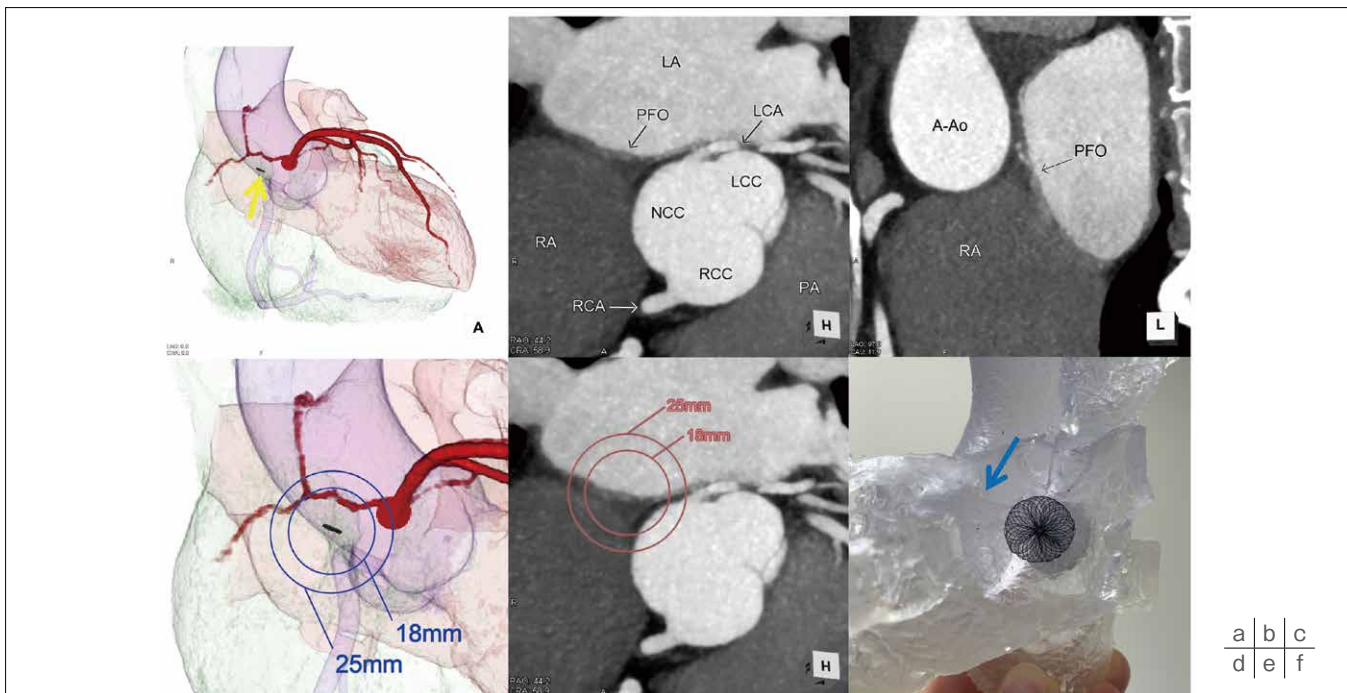


図3 PFO閉鎖術前

- a : PFO (矢印)・LCANCS・SNAの位置関係が把握できるVR
- b : PFO・LCANCS・SNAの位置関係が把握できるMPR
- c : PFOがスリット状に描出されるMPR
- d : PFOを中心にLA discサイズの円を表示しSNAに干渉するかシミュレーションしたVR
- e : PFOを中心にLA discサイズの円を表示しLMCAに干渉するかシミュレーションしたMPR
- f : 3Dプリンターで作成したモデルに対してAPOをはめ込みLMCA (矢印)に干渉するかを後方からシミュレーション

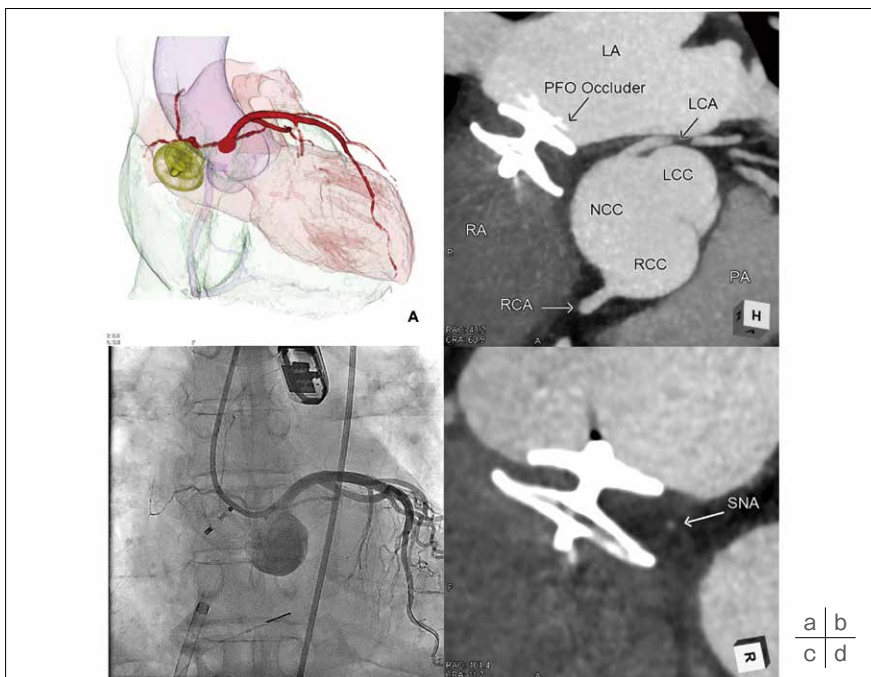


図4 PFO閉鎖術後

- a : APO・LCANCS・SNAの位置関係が把握できるVR
- b : APO・LCANCS・SNAの位置関係が把握できるMPR
- c : APO留置直後の左冠動脈造影
- d : APOとSNAのMPR